



校長室だより

令和4年9月9日

No.16

秋の気配を少しずつ感じながらも夏が居残っているというのが今の季節でしょうか。日によってはまだ真夏日になることもあります。今週は台風の影響もあってちょっと不安定な天候が多かったようです。

さて、きょうは9月9日。重陽の節句（ちょうようのせつく）です。と、言われても「はあ〜？」かもしれませんね。昔の中国から伝わってきた季節の考え方で、奇数（陽）が重なることは縁起がいいと言われ、例えば3月3日は桃の節句、5月5日は端午の節句、などは今でも雛祭りや子どもの日としてお祝いされますね。そして、奇数として最大の9が2つ重なる9月9日は非常に縁起がいいということで重陽の節句と言われています。もとは旧暦9月9日で、今よりも少し秋が深まった頃ですから菊の花が盛りとなり、別名「菊の節句」とも言うそうです。秋らしい行事と言えますね。とは言うものの、最近では雛祭りや端午の節句にくらべるとそれほど話題にはならないようです。

むしろ、9月と言えば十五夜の方が有名でしょうか。月がきれいに見える季節です。すすきやお団子をお供えしてお月見…なんていう風習も最近あまり目にしなくなっちゃったようですが…。この十五夜、今年実は9月10日。明日なんですって。え〜、じゃあ明日は満月？というところでもなく、十五夜は満月というイメージが強いですが、もともとは旧暦の8月15日の夜のことで、満月とは限らないそうです。

あと、9月は二百十日（にひゃくとおか）というものもあります。春の立春から数えて210日めにあたり、これは季節の区切りと言うことで特にお祭りとかではありませんが、なぜか昔から台風が多いと言われていました。今年9月1日ですが特に台風とかはなかったようですね。

そして、9月23日は秋分の日…お彼岸の中日です。お墓参りをされるご家庭も多いでしょうか…こうやって並べてみると9月は季節にちなんだ日や行事が多いですね。普段はあまり意識していないことが多いと思いますが、あらためて暦をじっくり見ると、この季節らしいいわれがあることがわかります。

ただ、学校でもそうですが地域やご家庭でも最近あまりこうした季節にちなんだならわしは残念ながらあまり行われなくなっています。逆にハロウィーンなど大変な人気行事になっているものもあります。時代の流れや事情、考え方などもあるとは思いますが、少し立ち止まって、季節を味わってみることも大切かなと思います。また、できれば子どもたちにも伝えていきたいところでもありますね。ほんごうの今日の給食は里芋の磯煮と月見汁の「お月見献立」でした。

さて、重陽の節句は菊の節句ですから、それにちなんで菊の花を浮かべた菊酒を飲んでお祝いすることになっているそうです。なので、私も今夜は一献…え、菊がない？じゃあ、仕方ない、酒だけでもいいか（見え透いた言い訳になっていますね…）。

事務室前の桜も少し秋の色に

